

事業番号	15 07 13	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	県立歴史館事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	文化財・生涯学習課		
	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づくり		E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp		
		2 文化芸術の振興		実施期間	H6 ~		

1 事業の概要

目指す姿	県下唯一の県立文化財収蔵施設として、県民の教養及び文化の向上を図り、心豊かな県民生活の実現と、伝統文化による魅力と活力ある地域づくりをすすめる、未来に引き継ぐ。		
現状(予算編成時)	【あり方検討で決定した基本方針】 ・県立の博物館として、県全体の歴史に関する調査研究等を体系立てて行い、県内博物館の中核的な役割を果たす。 ・県の北部に偏りがちなこれまでの活動を見直し、県内全域に出かけ活動する博物館を目指すとともに、県民の信州学の知の拠点のひとつとしての役割を充実させる。 ・あり方検討で決定した新規授業や事業の見直しに取り組む。 ・空調設備・屋根等施設の老朽化が進み、改修が必要である。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 長野県立歴史館条例、長野県立歴史館管理規則、博物館法	
	県民との協働による実施: 実施中		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)							
	<ul style="list-style-type: none"> 県民のニーズに応え広く利用してもらうことを目標に、利用者数10万人、学校見学300校程度を目指す。 文化財の活用を図るため、収蔵資料等の整理、保存及び調査研究を進める。 							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H27事業実績		H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
		県立歴史館管理運営費	直接	・県立歴史館施設の維持・管理 ・設備等の改修		125,544	114,446	329,802
		総合情報事業費	直接	・常設展(270日)・季節展(2回)、講演会・講座(83回)、研究会等の開催 ・歴史資料等の収集・保存整理・調査研究・情報提供及び調査相談 ・年報・研究紀要等刊行物の発行		10,982	10,435	11,144
		考古資料事業費	直接	・考古学講座(4回)、研修会の開催 ・考古資料の収集・保存整理・調査研究・情報提供及び調査相談		8,848	8,276	9,564
	文献史料事業費	直接	・古文書講座(25回)、研修会の開催 ・文献史料の収集・保存整理・調査研究・情報提供及び調査相談		1,881	1,828	1,872	
	企画展開催事業費	直接	・夏季企画展・秋季企画展、講演会(22回)等の開催		5,707	5,887	6,812	
			合計		152,962	140,872	359,194	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	137,513	444,283	152,962	359,194
	補正予算	7,907			
	合計(A)	145,420	444,283	152,962	359,194
	一般財源	128,353	134,362	139,129	215,099
	県債			5,000	134,000
	国庫支出金	10,226	1,830	1,830	1,830
	その他	6,841	308,091	7,003	8,265
	決算額(B)	143,915	385,271	140,872	
概算人件費	職員数(人)	21.00	21.00	21.00	21.00
概算事業費(B(A)+C)	概算人件費(C)	173,418	173,418	173,796	173,796
		317,333	558,689	314,668	532,990

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
利用者数	103,370人	100,000人	104,994人	達成	100,000人
学校見学校数	280校	300校	273校	未達成	280校

目標に対する成果の状況	利用者数は104,994人と前年度より1,624人増加し、目標を達成することができた。一方、学校見学校数は、前年度より減少し、目標が未達成となっていることから、H28は学校への企画提案等を更に工夫し、見学校数の維持を図る必要がある。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	平成28年度から歴史館長に外部人材を登用し、歴史館の各機能の充実強化を図る。